

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	経済・経営の現場を知る2 (Current Business Topics 2) 2013011-041					担当教員	生島 義英 (イクシマ ヨシヒデ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	地域志向科目／知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要
本授業では、対象を流通業に絞り、企業経営やビジネスに関する最新のトピックスや考え方・捉え方を解説する。流通業は、私たちの生活と密接不可分な極めて身近な存在である。本授業では流通業の仕組みや運営方法の基本を学修するとともに、新潟県・長岡市の小売業を中心とした現状や今後の方向性等および現場業務について取り上げ、流通業を理解していく。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
地域社会に貢献する姿勢／職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
①該当範囲の授業 ②前回授業の振り返り、「振り返りレポート」のフィードバック ③新聞記事など流通業の経営に関する新聞記事などの話題の提供 ④授業終了時振り返りレポートの作成 教科書は、必ず購入する。 授業範囲の教科書該当ページを事前に読み込み、わからないことを事前に把握する。 振り返りレポートは、授業で習得した知識を簡潔にまとめることにより知識の定着を図る。 グーグルクラスルームを使用するので、必ず登録する。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
経済・経営の現場を知る1, 経営学, 流通論入門
⑤ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 独力で流通業に関する基礎知識を理解し、内容を説明することができる。 (ii) 独力で流通業の現状と課題、今後の方向性について考察することができる。 (iii)独力で新潟県、長岡市の流通業発展経緯、課題について考察することができる。
⑥ テキスト（教科書）
小林隆一（2016）,『流通の基本(第5版)』,日本経済新聞出版社 授業時間にレジュメ、関連資料を配布する
⑦ 参考図書・指定図書
鈴木邦成（2017）,『トコトンやさしい小売・流通の本』,日刊工業新聞社 日本経済新聞 日経流通新聞、新潟日報など

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S 到達目標を越えたレベルを達成している	A 到達目標を達成している	B 到達目標達成にはやや努力を要する	C 到達目標達成には努力を要する	D 到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 流通業に関する基礎知識	流通業に関する基礎知識を理解し、内容を説明することができ、授業内容を越えた学修成果を示している。	独力で流通業に関する基礎知識を理解し、内容を説明することができる。	資料などを参照し、流通業に関する基礎知識を理解し、内容を説明することができる。	教員等の支援を受けて、流通業に関する基礎知識を理解し、内容を説明することができる。	流通業に関する基礎知識を理解し、内容を説明できない。
(ii) 流通業の現状と課題の知識	流通業の現状と課題、今後の方向性について考察することができ、授業内容を越えた学修成果を示している。	独力で流通業の現状と課題、今後の方向性について考察することができる。	資料などを参照し、流通業の現状と課題、今後の方向性について考察することができる。	教員等の支援を受けて、流通業の現状と課題、今後の方向性について考察することができる。	流通業の現状と課題、今後の方向性について考察できない。
(iii) 新潟県、長岡市の流通業発展経緯の知識	新潟県、長岡市の流通業発展経緯、課題について考察することができ、授業内容を越えた学修成果を示している。	独力で新潟県、長岡市の流通業発展経緯、課題について考察することができる。	資料などを参照し、新潟県、長岡市の流通業発展経緯、課題について考察することができる。	教員等の支援を受けて、新潟県、長岡市の流通業発展経緯、課題について考察することができる。	新潟県、長岡市の流通業発展経緯、課題について考察できない。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%			10%		10%		100%
(i) 流通業に関する基礎知識	30%			4%		4%		38%
(ii) 流通業の現状と課題の知識	30%			3%		3%		36%
(iii) 新潟県、長岡市の流通業発展経緯の知識	20%			3%		3%		26%
フィードバックの方法	授業冒頭に前回授業内容サマリーをフィードバックして知識の定着を図る。授業後振り返りレポートを作成し、次回授業時にフィードバックする。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
履修者になるべく理解しやすいように画像や図表などを多く授業を行う。 実務者の講演を取り入れる。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	イントロダクション 流通の仕組み	授業後振り返りのまとめ 関連情報の収集と整理	60分
2	小売業の形態① 小売業の分類，売上推移	授業前に教科書の該当部分の予習， 小売業態に関する関連情報の整理	60分
3	小売業の形態② 百貨店など	授業前に教科書の該当部分の予習， 百貨店に関する関連情報の整理	60分
4	小売業の形態③ GMS、SM、コンビニなど	授業前に教科書の該当部分の予習， GMS、SMなど小売業態に関する 関連情報の整理	60分
5	小売業の形態④ ドラッグストア，ホームセンター，家電量販店など	授業前に教科書の該当部分の予習， DS、HCなど小売業態に関する 関連情報の整理	60分
6	◆小売業の経営について 外部講師による授業	授業後外部講師の授業内容をまとめ， 理解する。	60分
7	小売業の経営① チェーンストア経営，ボランタリーチェーンの仕組みなど	授業前に教科書の該当部分の予習， チェーンストア経営などに関する 関連情報の整理	60分
8	小売業の経営② FC，地域対応，商圈の仕組みなど	授業前に教科書の該当部分の予習， フランチャイズなどに関する 関連情報の整理	60分
9	小売業の経営③ MD，インスタMD，カテゴリーマネジメントなど	授業前に教科書の該当部分の予習， MD，カテゴリーマネジメントなど に関する関連情報の整理	60分
10	小売業の経営④ POS，EDI，IT活用など	授業前に教科書の該当部分の予習， 流通業のITに関する関連情報の 整理	60分
11	◆物流の仕組みについて 外部講師による授業	授業後外部講師の授業内容をまとめ， 理解する。	60分
12	物流① 物流とは，物流の基本機能など	授業前に教科書の該当部分の予習， 物流の基本機能に関する関連情報の 整理	60分
13	物流② 小売業の物流，共同配送など	授業前に教科書の該当部分の予習， 小売物流などに関する関連情報の 整理	60分
14	物流③ 物流センター，ロジスティクス，SCM	授業前に教科書の該当部分の予習， ロジスティクス・SCMなどに関する 関連情報の整理	60分

15	流通業の課題 授業のまとめ	授業全体の振り返り 流通業の課題に関する情報の収集 と整理	60分
----	------------------	-------------------------------------	-----

⑫ アクティブラーニングについて			
知識定着・確認方ALを行う。授業中に問いかけ行うことにより考える時間をとり、その内容を発表し理解を深める。毎回授業後半に振り返りレポートを作成する。授業の進行上振り返りレポートを作成する時間が取れない場合、宿題となる。			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の概要			
昭和63年(1988年)4月から平成31年(2019年)3月まで31年間民間企業に在籍し、在籍期間中は、情報システム部門において流通業・鉄道業のシステム設計と運用など、物流管理部門において小売業物流の仕組みの構築と運用改善・物流教育・運用など、人事労務管理部門において制度設計や法令変更対応、組合との交渉など、総務部門において株主総会・取締役会の事務局運営やコンプライアンス・CSRなどの業務に従事した。実務担当者、管理職、グループ企業の取締役の経験など様々なマネジメント業務に携った。			
実務経験と授業科目との関連性			
流通業において、担当者としての実務経験や部門長として管理職経験、役員経験を活かし、実務経験がなく、実務を想像しにくい学生に対して、より実務的、具体的にビジネスの業務運営、課題解決、業務構築などの一連のプロセスを教授することができる。 現場で発生している問題など具体的な事例をもとに、課題解決策の策定などについて、興味深く説明することができる。			